



【図書館歳時記】 「戦国時代の人の発言」

相馬地方の歴史などが書かれた『奥相茶話記』には、当時の人たちの言葉や考えなどが記されていて、興味深い。大永4（1524）年、相馬の領主、相馬顕胤は家臣の木幡出羽守から「今時は我がちの浮世にて、今日は今日、明日は明日と分かれば、いかなる誓約も頼みがたくこそはべれ」、つまり、「この頃は、皆、自分の利益や都合だけを考え、今日は今日、明日は明日と割り切って、物事を考えるので、その日によって考えが変わる。それゆえ、約束を破ることなども平気な御時世なのです」との忠告を受けた。戦国時代というのは、まさに、このような時代だったのだろうなあと思い、これを人に話したら、「今の世の中でも、そういうところって、あるんじゃないですか？」といわれた。

いわき総合図書館長 夏井芳徳

おすすめの本紹介

「されど愛しきお妻様」

鈴木 大介 || 著 講談社



この本は、41歳の時に脳梗塞を発症し、高次脳機能障害となった著者と、発達障害のある妻との18年間を綴ったものです。ルポライターの仕事も家事も自分一人で頑張ってきた著者は、障害を抱える身となって「家事力ゼロ」の妻との生活に悩みます。そんな中、「ようやくあたしの気持ちがあつたか」と妻に言われたことから、障害を背負う当事者の生きづらさに気づき、妻の置かれた状況に共感をもっていきます。悪戦苦闘しながら、変化していく二人の生活。障害者を取り巻く社会のあり方を問う一冊です。

「長生きできる町」

近藤 克則 || 著 KADOKAWA



本書の主題は、「健康格差」で、転ぶ人が多い町、認知症になる確率が高い町など、日本における「健康格差」の現状と発生要因、解消するための取組み等について書かれています。著者は子ども時代の生活環境の重要性に触れ、金銭的・物質的貧困が様々な面で影響を与え、それが高齢者の健康問題の原因になっていると分析しています。また、貧困の連鎖については、「本人の努力や自己責任という言葉で済ませるにはあまりにも酷だ」とも述べています。よい老後を送るためにはどうしたら良いのか、考えさせられる一冊です。

「毎日読みたい365日の広告コピー」

ライツ パブリッシング || 編 ライツ社



広告コピーとは、商品や企業の魅力を伝えるために考えられたものです。その中には、私達の人生に気づきや希望を与えてくれる素敵なフレーズがたくさんあります。広告の掲載期間や掲載場所に限定されず、多くの人に感動を共有してほしい、心に響く広告コピーが消えないようにという願いからこの本は生まれました。本書には365日、その日その季節に合わせた広告コピーが掲載されています。365日分読み終えたあとに、座右の銘が見つかるかもしれない一冊です。

「ちいさなもののやすらぐところ」

ジェイソン・コッククロフト || え

マーティン・ワッデル || ぶん 評論社



宿屋のそばの牛小屋では、疲れきった動物たちが来るたびに、オウシが「ここはちいさなものに用意された場所ですから」と言って、優しく招き入れていました。ある寒い冬の夜のこと、女の人を背に乗せ、男の人に引かれたロバがやって来ました。その晩、その女の方は男の子を産みました。その男の子は……。本書は、写真のようにも見えほど繊細な格調高い絵も楽しめる絵本です。クリスマスの季節に読んでいただきたい一冊です。

貸出 TOP10

1	コンビニ人間	村田沙耶香 著	文藝春秋
2	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子 著	小学館
3	人魚の眠る家	東野圭吾 著	幻冬舎
4	虚ろな十字架	東野圭吾 著	光文社
5	かがみの孤城	辻村深月 著	ポプラ社
6	コーヒーが冷めないうちに	川口俊和 著	サンマーク出版
7	未来	湊かなえ 著	双葉社
8	羊と鋼の森	宮下奈都 著	文藝春秋
9	恋のゴンドラ	東野圭吾 著	実業之日本社
10	蜜蜂と遠雷	恩田陸 著	幻冬舎

予約 TOP10

1	沈黙のパレード	東野圭吾 著	文藝春秋
2	大家さんと僕	矢部太郎 著	新潮社
3	かがみの孤城	辻村深月 著	ポプラ社
4	未来	湊かなえ 著	双葉社
5	思い出が消えないうちに	川口俊和 著	サンマーク出版
6	かみさまは小学5年生	すみれ 著	サンマーク出版
7	極上の孤独	下重暁子 著	幻冬舎
8	すぐ死ぬんだから	内館牧子 著	講談社
9	魔力の胎動	東野圭吾 著	KADOKAWA
10	愛なき世界	三浦しをん 著	中央公論新社

図書館からのお知らせ

【年末年始の休館日と開館時間について】

いわき総合図書館の年末年始の休館日は、平成30年12月31日及び平成31年1月1日の2日間です。小名浜・勿来・常磐・内郷・四倉図書館の休館日は、平成30年12月29日から平成31年1月3日までの6日間です。

また、いわき総合図書館の開館時間は、12月29日・30日、平成31年1月2日・3日は、午前10時から午後6時までとなります。

各図書館の休館日や開館時間をご確認のうえ、ご利用ください。



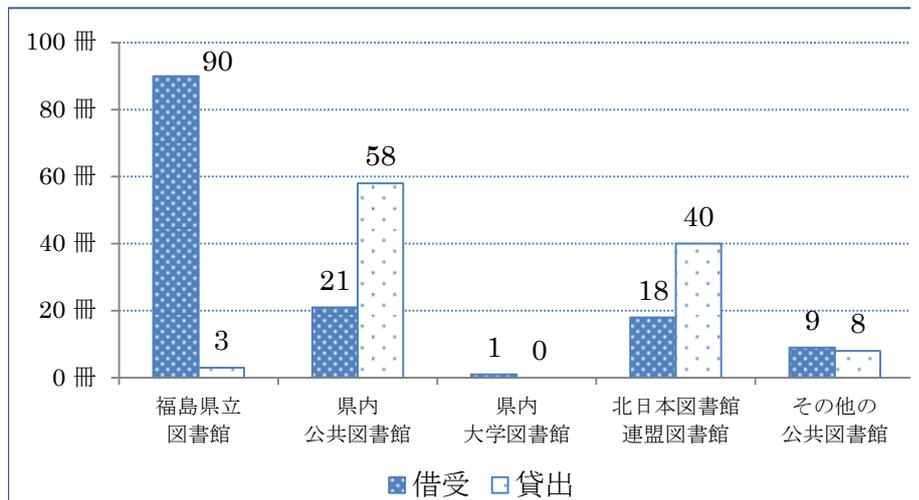
シリーズ 数字で見るいわきの図書館

【平成29年度相互貸借冊数】

借受 139冊

貸出 109冊

利用者の申し出を受けて、いわき市立図書館に所蔵していない資料を他の図書館から借り受けて提供したり、市外の図書館から申し込みを受けて、いわき市立図書館の資料を他の図書館へ貸出をする、「相互貸借」は歴史のあるサービスです。館種や市域を超えて、図書館と図書館がつながる実態が見えます。



大好評！の「本の貸出福袋」を実施します

いわき市立図書館では、新年最初の開館日から「本の貸出福袋」の貸出を行っています。

「本の貸出福袋」には、図書館職員がそれぞれのテーマに沿って選び抜いた本が3冊入っており、本のタイトルなどは伏せられていて、借りて開けるまでのお楽しみとなっています。「本の貸出福袋」の貸出は、いわき総合図書館は1月2日（水）、地区図書館は1月4日（金）、10時にスタートします！

“読み初め”に、「本の貸出福袋」はいかがですか？

